



## 會津 八一 AIZU, Yaichi

1881(明治 14)年 8 月 1 日 — 1956(昭和 31)年 11 月 21 日

1881 (明治 14) 年 8 月 1 日、新潟市古町の料亭 會津屋の次男に生まれました。新潟県尋常小学校に入学。この頃より文学に興味を持ち、新潟の禅僧である良寛の詠んだ歌を好み、万葉集を読破したといわれています。

18 歳の時に尾崎紅葉、坪内逍遙に出会って俳句に熱中し、翌年、正岡子規に面会し、影響を受けました。雑誌「ホト、ギス」に頻

繁に投稿して、地元新聞の俳句選者にも選ばれました。

1902 年、上京して東京専門学校 (現 早稲田大学) に入学。坪内逍遙や小泉八雲の講義を受けています。卒業後は、故郷の高校で英語の教師を務めながら、独学で美術史の勉強をしました。

1910 年に再び上京し、早稲田中学校の教員となります。教え子の相馬愛蔵・黒光夫妻の長男 安雄を叱り、落第させましたが、このことが感謝されて、後の中村屋との交流につながりました。

1923 (大正 12) 年、病床の彝の求めで面会し、翌年に『南京新唱』を贈呈しています。彝は再び會津に会うことを望みましたが、その三日後に亡くなっています。

1926 年からは、一転して早稲田大学で東洋美術史の講義を担当、1932 (昭和 7) 年に文学博士となって奈良美術研究会を發足しゅうそくしました。1945 年 4 月 14 日、空襲で會津の住居であった下落合の秋艸堂が全焼し、多くの書物や資料が焼失しました。その後、故郷の新潟に戻り、戦後は夕刊新潟社の社長となり、文化活動を行いました。

1956 年 11 月 21 日、75 歳で死去。1949 年に新宿中村屋で個展を開いています。号に、秋艸道人しゅうそくじんや渾齋こんさいなど。